

本大会申し合わせ事項
(密接対策 密集対策 密閉対策)

- 1 会場への入場について※雨天時も同様です。傘等の準備を忘れずをお願いします。
《役員(審判)》1階出入口から検温と消毒をしてご入場ください。
《選手・監督》2階出入口から入場し、奥の階段から1階試合場に移動
8:25 2F出入口に各学校ごとに集合 ※発熱者の入場不可
縦1m横1mほどの間隔をとり無言で整列する(マスクの着用)
健康チェック一覧表の確認(更衣は済ませておく)
顧問による手指消毒(消毒液は各高校で準備し更衣は済ませておく)
8:30 学校ごとに専門部の指示で検温し入場
事前に指定した荷物置き場へ移動し荷物を置く
各学校ごとに練習準備(男子個人選手は道場1へ防具を持って移動)
受付(健康チェック一覧表・B5掲示用名票を提出)
入場完了後諸注意
8:40 練習開始
9:20 「会議室」で審判監督会議
9:45 練習終了
9:55 選手整列(専門部の指示に従う)女子団体戦・男子個人戦出場者
10:00 開会式(2日目は試合開始)

《観戦者》※入場制限については、4に詳細を表記
9:00 2F出入口前に集合
事前に連絡した内容について確認
健康チェックシートの提出(IDの呈示・確認)
9:05 各学校ごとに集合し、手指消毒を行う。係員による検温を実施したのち入場
する。入場後は、指定された座席に移動。動線については本部の指示に従う
こと(不織布マスク着用)
10:00 開会式 1席ずつ間隔を取り、不織布マスク着用 無言
(2日目・3日目は試合開始)

2 選手・役員・観客等の動線について(別紙)
選手・役員(1F)と観客(2F)は完全に分断し、それぞれの入退場の動線は事前に
指示(2Fは入場後に施錠)し、試合開始後の出入口は1Fのみとする。

3 消毒液の配置・個数について
出入口・トイレ・自販機前・役員控室に配置し定期的に点検と補充を行う
部顧問は、消毒液を携帯し積極的に触れた場所の消毒を行う。(3日間終日)
使用した座席については、使用者で消毒を行う。

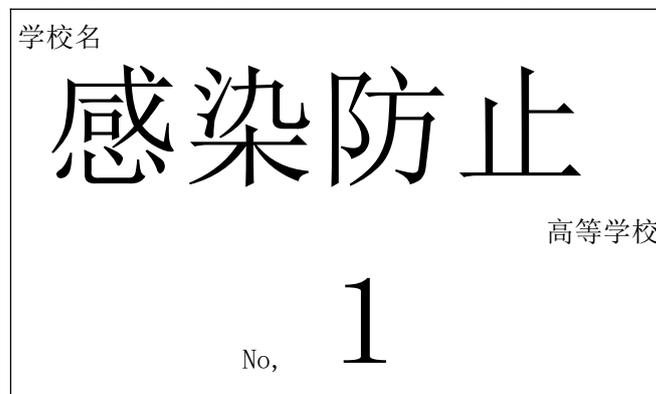
4 観客席の入場制限について（一般の方の入場は認めない）

各学校の出場選手の保護者（選手1名につき保護者2名以内）は可とする。当日の企業（卒業アルバム撮影業者・マスコミも含む）や上級学校の視察員は検温と健康チェックシートに記入し（37.5℃未満・1週間前から発熱等なし）許可する。ただし、大分県との交流が認められていない地域の方の入場は認めない。（観戦許可された入場者はIDの呈示を徹底する。不織布マスク着用）

※観戦する保護者については、代表者が各学校ごと健康チェックシートに記入し、大会当日朝に専門部に提出。IDはサンプルをダウンロードして各学校で作成する。IDには学校名と番号をはっきりと明記し、提出する健康チェックシートに記載された番号と必ず一致させ、IDのない者の入場は認めない（入場時は入口に係員配置）

高齢者の入場は制限しないが、慎重に判断するよう各学校に要請する。中学生以下の子どもも1名とします。（乳幼児は数に含みません）

【IDの様式】 ※会場内では必ず首からかけることを徹底する



※退場するときは、各学校や保護者で使用した座席を消毒する。

5 会場の換気について

スポーツ庁や会場の方針に沿って、30分に1回の換気を徹底する。（気温が高い場合は、空調を使用します。換気は高体連剣道専門部と体育館職員で実施）

大会期間中は、更衣室は一切使用しない。（試合終了後も更衣はせずに退場する）

役員控室も各自で使用状況を考えて使用し、長時間滞在しない。（使用制限掲示）

6 本大会の場面ごとの感染症対策について

開会式 十分な間隔を取って整列し無言（不織布マスクの着用）

試合会場に整列する選手は1日目の競技（女子団体戦・男子個人戦）の出場選手のみ。他の監督と選手は、監督・選手控えの座席に整列。1日目に競技のない選手の服装は各学校の制服もしくはユニフォームでよい。

選手宣誓は、不織布マスクを着用し十分な間隔を取って行う。

表彰式 十分な間隔を取って整列し無言（不織布マスクの着用）

男女とも団体戦は決勝リーグ進出校が整列。その他の学校はその後列に学校ごとに整列する。（専門部の指示で整列）

閉会式 男女個人ベスト8で整列。（その他選手は専門部の指示で整列）

- 礼 法 試合場では、整列時も控えでも横の選手と1mは間隔を取り不織布マスクを着用。監督は、会場内では、不織布マスクを常時着用すること。
- 試 合 密接な状態を避けるために「つばぜり合い」は行わない。詳細については、最新の審判講習会および「新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合審判法」の内容を確認し、周知徹底すること。
- 試合前や試合後の指導は、指導者・選手も必ず不織布マスクを着用し、3密回避に努めること（距離の近い円陣、発声を伴う円陣、握手など）
- 面の着用時には、飛沫防止の用具（面マスクとシールドの両方）を着用。
- ※シールドは口部分を覆うものだけで構いません。アイシールドまで着用するかどうかは各学校および個人で判断してください。
- ※試合時は「面マスク・マウスシールド」、試合前後は「不織布マスク」、使い分けを徹底してください。

7 その他

○試合当日の用具（剣道の用具・おしぼりや飲料も含む全て）の貸し借りや共有は厳禁とします。

○熱中症対策についても、各学校で万全の準備をして大会に参加してください。

○大会参加者の昼食場所については、当日、専門部で指示します。

○監督・選手を除く、大会役員（審判含む）・補助員は、フェイスシールドと不織布マスクの着用をお願いします。大会役員（審判含む）と補助員のフェイスシールドは専門部で用意いたします。

○下記の時間で竹刀検量（1人3本以内）を実施しますので、竹刀検量前に各学校で点検をお願いします。竹刀だけでなく着装や防具（紐の長さ）など細部にわたり、各学校の指導を徹底し、スムーズな大会運営にご協力ください。

6月 4日（土）8：40～9：45 女子団体戦選手・男子個人戦選手
表彰式終了後～30分程度 男子団体戦選手

6月 5日（日）8：40～9：40 男子団体戦選手・女子個人戦選手

6月 6日（月）8：40～9：40 男女個人戦選手

○県総体での救済措置について

日をまたぐ試合の変更はできませんが、その日の試合時間の変更などは、専門委員で協議します。団体登録選手の変更については、これまで通り当日2名までの変更を認めます。新型コロナウイルス感染症に関わる突然の変更の場合は、専門委員でその内容や人数について協議し、学校長の職印がない場合でも承認します。ただし、個人戦選手の変更は認められません。